



# 七本松

平成15年7月1日発行  
木之本ライオンズクラブ  
情報・広報委員会  
発行所  
滋賀県伊香郡木之本町木之本  
伊香郡民会館2Fクラブ事務局  
TEL.木之本(0749)82-5425

## 一年を振り返って



幹事 L 大林 利男

「一年を振り返って」と原稿依頼を受け、早や一年がすぎたのか...というのが一番に頭に浮かびました。

伝統ある木之本ライオンズクラブの幹事に任命され、いきなり大阪での国際大会参加。計画委員会の皆様と共にあわただしく前任者のL浅井幹事のご指導を受けながら計画し、大阪国際大会への全員出席を無事終えました。そんな所で、幹事をお引き受けした重要な立場であることを考える余裕ができて、あらためてその重責を感じ、身に余る喜びを感じた出発でした。

浅学非才な私に名誉ある役職を与えて下さった皆様方に感謝しつつ、身をひきしめ幹事の役職をこなしてまいりました。理事会での議題の審議、決定。例会の運営。幹事会、諮問委員会での他クラブとの調整、連絡。又クラブ内での事業等目まぐるしく一年が過ぎ、振り返ってみると反省点が多い幹事職だった様に思います。幹事会では他クラブの皆様方と出会い、他クラブへの例会訪問では自分の所属するクラブの運営方法及び活性化への参考になればと参加してまいりましたが、なかなか生かせないうちに任期が過ぎてしまい申し訳なく思っております。又、ガバナー諮問委員会のホストクラブとして協議進行を務めさせていただき、当クラブの会長はじめ十二クラブの会長、幹事様のご協力をいただき無事終えることが出来、すばらしい体験をさせていただき感謝申し上げます。

今年の最大の喜びは、当クラブが三三五IC地区で優秀クラブ賞の表彰を受けた事です。受賞が決まった時、諸先輩方の功績の大きさをあらためて知り、今後引き継いでいかななくてはならないと思うと、役職が終っても身の引き締まる思いです。各事業・各運営委員会の皆様方には、一年間大変お世話になりお陰様で立派な成

果を納めることができました。数々の継続事業の中で新しい内容を盛り込み、取

## ガバナー「優秀賞」を受賞!!

第四十九回三三五IC地区年次大会が、去る四月十九日(土)、国立京都国際会館にて例年通り開催され、今年度は、地区役員・三役・次期会長のみの参加となりましたが、その大会式典において、国際

会長表彰の後、ガバナー表彰に移り、木之本ライオンズクラブは、ガバナー賞「優秀賞」という名誉ある受賞に浴しました。このガバナー賞というのは、三三五IC地区九R(リジョン)・一二〇クラブの中で、「最優秀賞」一クラブ「優秀賞」八クラブ「優良賞」十六クラブという厳選された表彰であり、一九八八年の第三十四回三三五IC地区年次大会で、当クラブが「優秀賞」を受賞して以来、十五年振りの受賞となりました。当日、最優秀賞の京都東LCに続き、



秀クラブ賞  
ライオンズクラブ  
優秀クラブ賞  
木之本ライオンズクラブ  
INGS CLUBS INTERNATIONAL

り入れられた楽しいすばらしい一年でありました。ありがとうございます。ご苦勞様でした。最後にりましたが、セリジョンの人々に出会い、いただいた皆様方の暖かいご指導ご支援に心から感謝し、得たすばらしい体験・学びを今後の私の人生の中で生かし、木之本ライオンズクラブの発展のために努力することをお約束し幹事を終らせていただきます。皆様ありがとうございました。

優秀賞の一クラブとして、高城利治地区ガバナーより藤田毎馬会長が我がクラブを代表し、会場全体の盛大な拍手の中で受賞いたしました。この受賞は、当年度だけでなく過年度にわたる、我々クラブ全員の日頃の活動に対して表彰を受けたわけですが、その中でも特に、先輩から受け継ぎ、地道に継続してきた「伊香郡スポーツ少年団交流大会」や「郡内小中学校障害児学級一日バス旅行」など、主に、青少年育成活動のアクティビティが評価されたようです。我々のライオンズを通じての奉仕活動は、本来、自主的な無償のものであつて、それ故に、表彰云々・評価云々を言うべきものではありませんが、今回の受賞が、これからの活動の励みやマンネリの防止、メンバー

の絆の強化に結びつけば、意義ある受賞になるといえます。尚、今回の受賞に当たっては、藤田毎馬会長自ら、精力的にPRに努められたことも、受賞の牽引になつたことを紹介して、ガバナー賞「優秀賞」受賞の報告とします。(L藤田暢彦 記)

## 新会員の紹介



L 徳田大蔵

ご本人が、自己紹介でお話されていたようにそのお名前から連想する職業は銀行マンであり、金融業界で活躍される宿命と資質を備えておられるよう推察いたします。

先般、お話しする機会があり、大手銀行への公的資金投入・低金利・貸し渋り等、金融機関に対する不満が続出する昨今、お勤め銀行が、企業の環境経営の普及に取り組み「第一回・日本環境経営大賞」最優秀賞を受賞したこと、銀行の環境方針に基づき「エコクリーン資金」「エコプラス定期」を積極的に推進しておられる

ことなどをお聞きしました。そして、この環境問題への取り組みは、ライオンズの本年度テーマ「水とみどり」で世界を結ぼう」に通じることを、お互いに、熱く、語り合い、ご本人のお仕事や地域活動への真摯な姿勢に共感いたしました。また、年末年始に、行員の方々はそれぞれに忙しく担当業務で精一杯、支店長自ら、ひとり黙々とお客様のため雪除けしておられる姿をお見かけし、その実直さに触れた感じがしました。

家庭にあつてはよき父、よき夫として長浜にお住まいで、趣味は園芸とか...。厳しい経済環境下、地元に着着した銀行の支店長として、木之本LCの一員として、尚一層のご活躍を期待しています。(L藤田暢彦 記)



L 竹中滋祥

入会は平成十四年三月で新入会員紹介にはすこし時機を逸した感もありますが、クラブ会紙「七本松」は記録という使命もあるため改めて竹中滋祥君の紹介をいたします。社命により青井支店長との交替会員として当クラブに入会された、まだ五十路前の好漢であります。ご家族は奥さんと高三・高一の娘さん

二人女系家族で家では肩身が狭いそうです。趣味は海釣りや昨年から始められた錦城流の詩吟、以前はゴルフも趣味の一つでしたがこれからは遊びとして続けるそうです。出身は米原町朝妻筑摩、神奈川県卒業後長浜信用金庫本店営業部を振出しに、醒井支店長を経て木之本支店長に着任されました。木之本には戦国時代の重要な歴史のページがあり、自然の多い住みよい地域で雪の多い所ではなく、雪が多いからこそ木之本と思う。と嬉しいことをおっしゃるL竹中滋祥とは姓は同じだが、ルーツは定かではない。(L竹中一雄 記)



L 奥平吉照

L奥平と初めてお会いしたのは社長に就任されるときにご挨拶に来られたときだと思えます。仕事で工業製品を作ることで話題もあり、その後、商工会の賀詞交歓会や商工会の総会で言葉を交わすようになりました。週末は京都の家族の

とに帰られるとのことでした。すでに十年以上も木之本で仕事をされていますので、大いなるおせっかいはやいて、地元のスポート関連の集まりやライオンズクラブを紹介致しました。木之本の自然や歴史、そこで生活する人々に親しみ、楽しんでもらえればよいと思えます。ライオンズクラブの活動、また、OA機器の生産企業として地元への資材調達、雇用の創出等を通して地域に貢献されることを多いに期待致します。(L速水五郎 記)